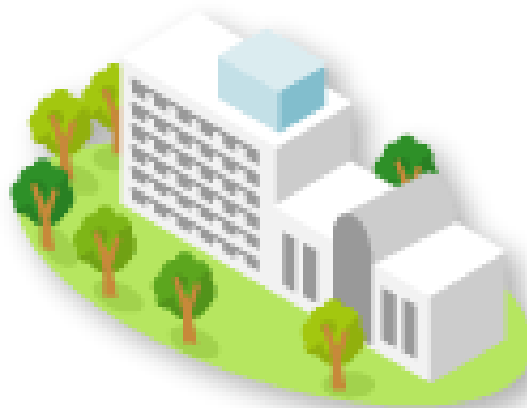


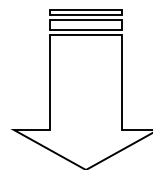
病院・老人保健施設における 業務効率向上のご提案



□ 課題解決策と提案のコンセプト

課題解決策

- ①シルウォッチを導入することで、ナースコールを強い振動で直接時計の画面にメッセージで伝わるようになり、どこにいても確認できるようになる。
- ②離床センサーとナースコールの区別ができるようになり、緊急の優先順位がつけられ、業務効率の向上が図れる。



コンセプト

特に夜間時における少人数での介護職員の業務効率に繋がる。

メリット

腕時計型なので、PHSと違い作業の邪魔にならない(落とすこともない)

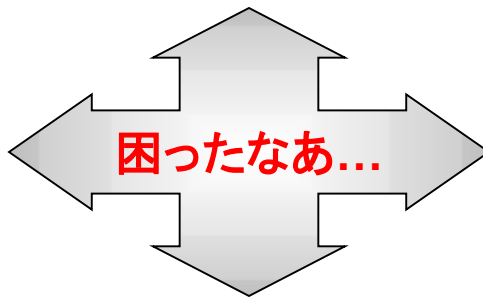
□ 夜間時の問題



ナースコールに気がつかない...
部屋に入ってしまうと聞こえないことしばしば。
対応に遅れることもあるな...



ナースコールと離床センサーのコールが
一緒に優先順位がつけられない...
少ない職員で対応しているため
効率よく動きたい...



認知症の方がいろいろ話しかけてくる...
ずっと話していると大変...



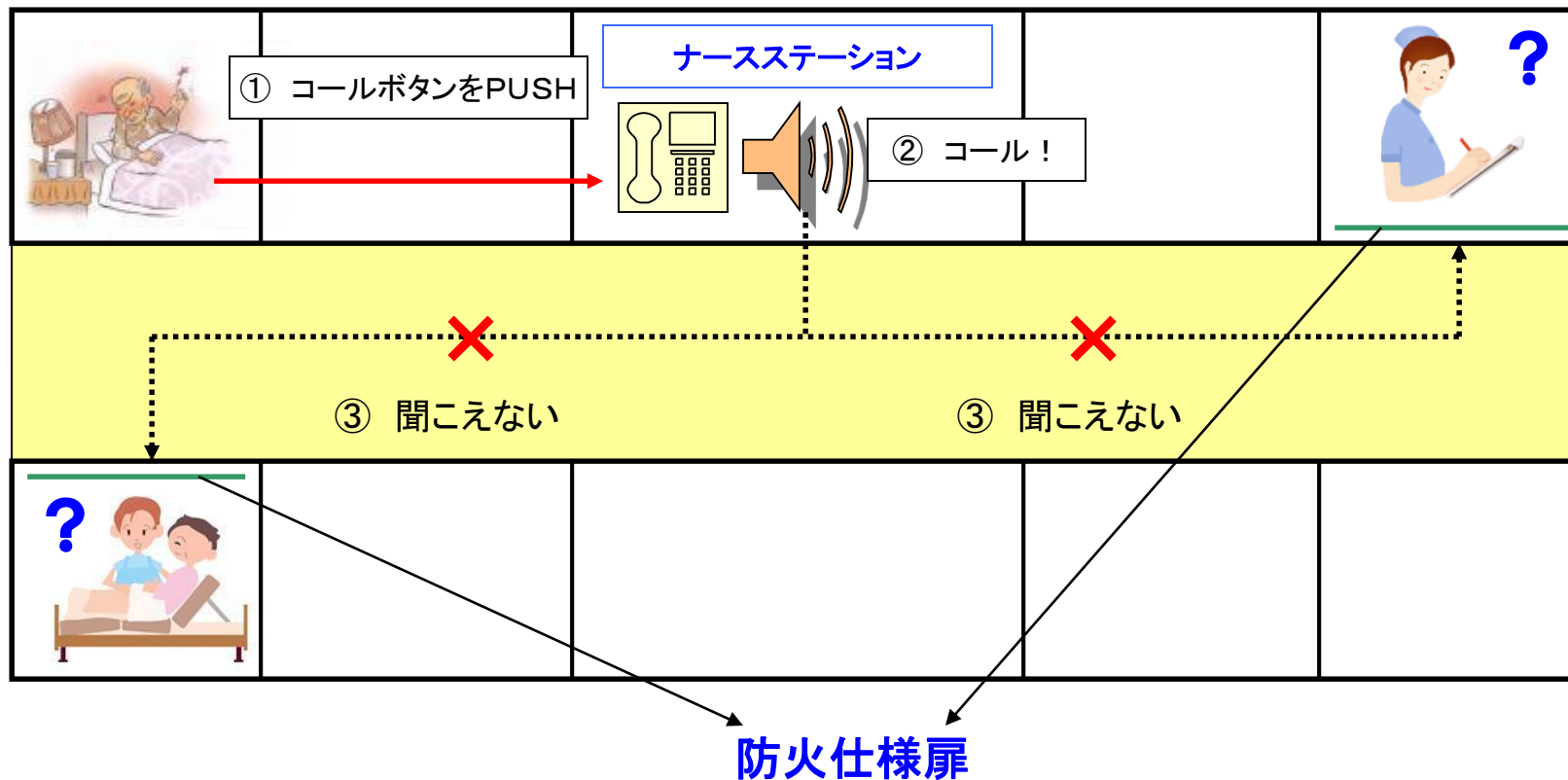
ナースセンターまで移動も大変...
どこの部屋かわからないため、部屋を探すか、
センターまで行って確認するか、大変だな...



□ 現状の問題（１）

○ ナースコールが聞こえない

フロア簡略図

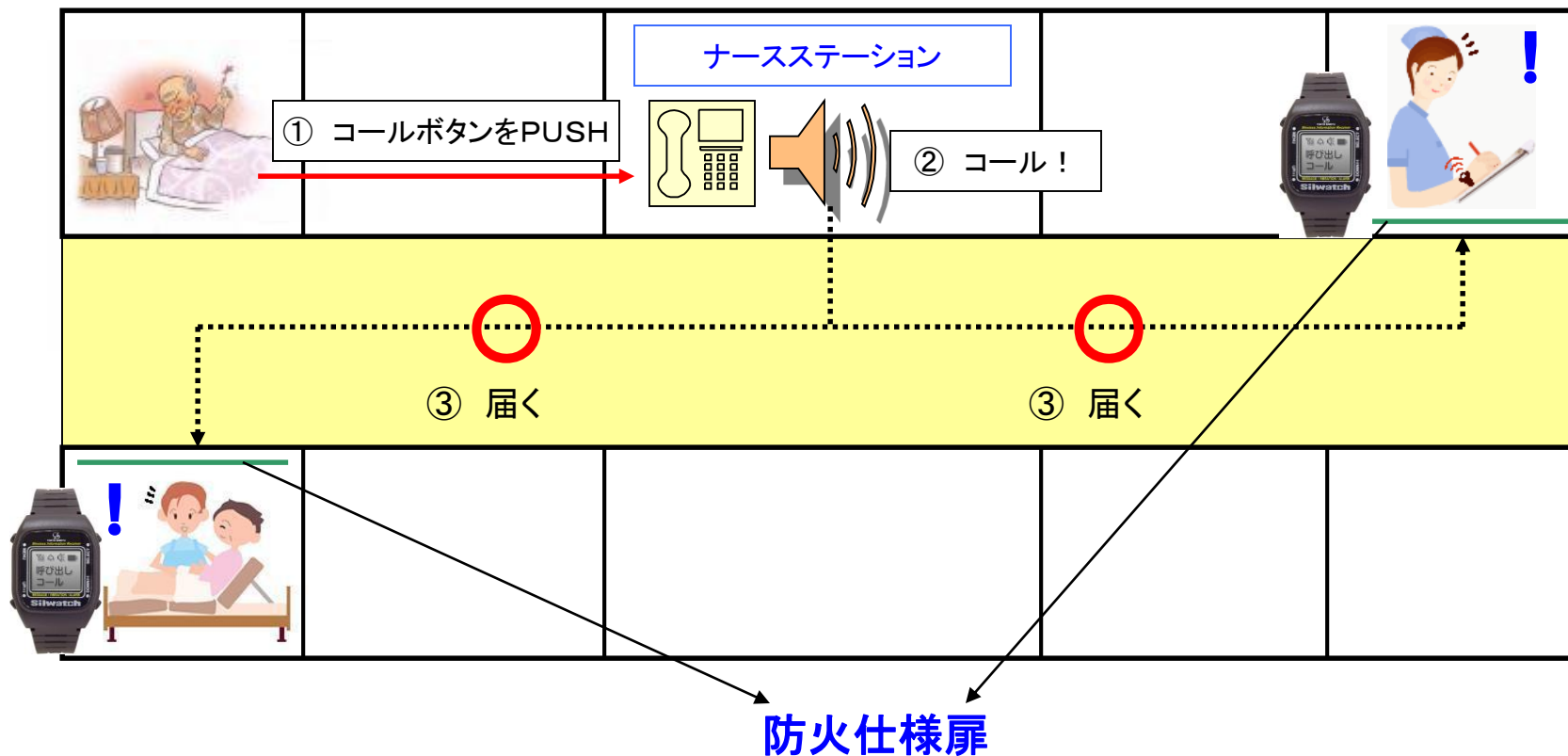


最新の防火設備になっている(防火仕様扉)ので、夜間時等、扉が閉鎖された状態になると、ナースステーションの音が聞こえなくなる場合がある。(コールに気がつかない)

□ 現状の問題（１）

○ナースコールが聞こえない

フロア簡略図

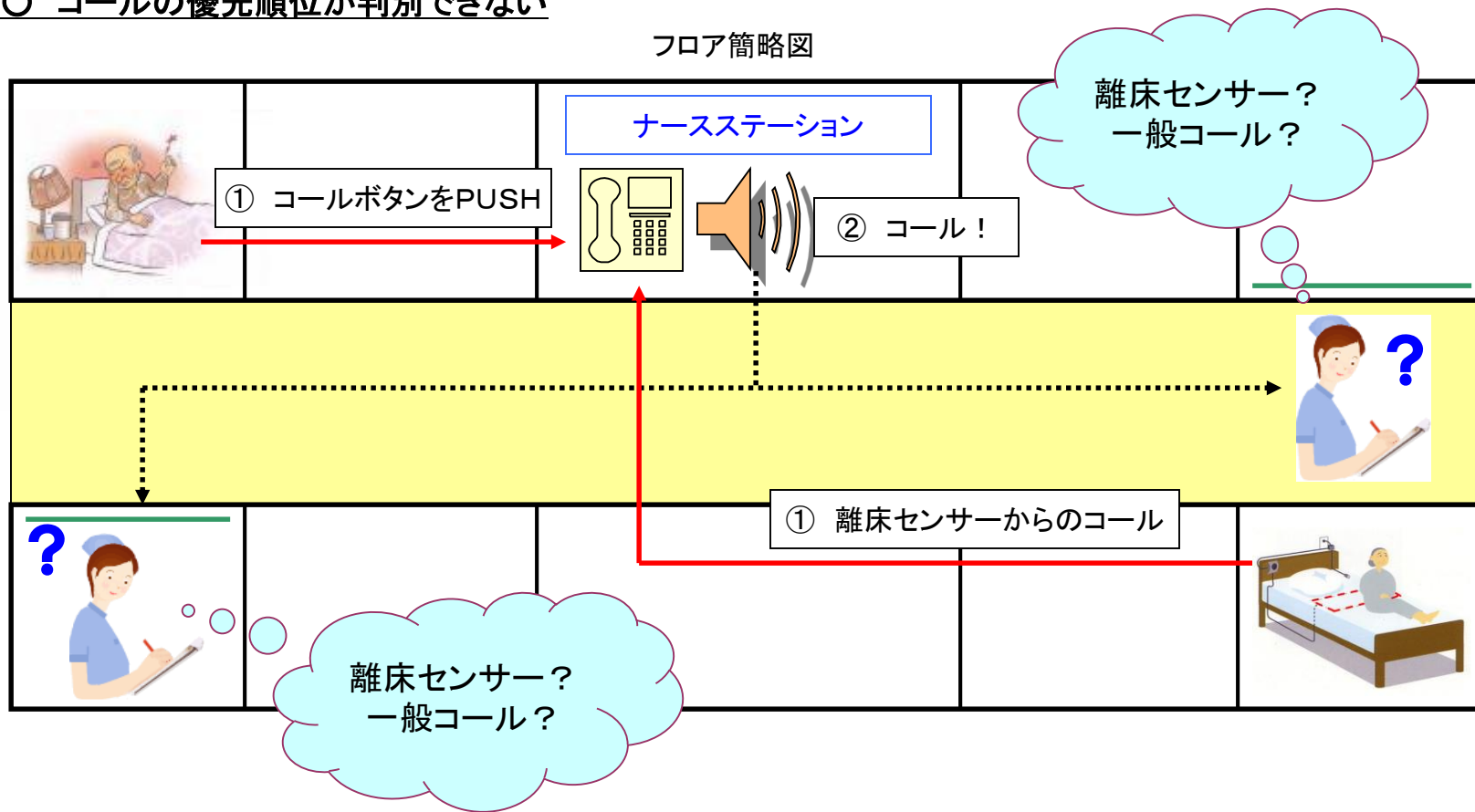


一般コールはナースステーションから防火扉を越えてスタッフの腕時計に受信。
どの部屋で作業をしても、振動と文字でお知らせします。

□ 現状の問題（２）

○ コールの優先順位が判別できない

フロア簡略図

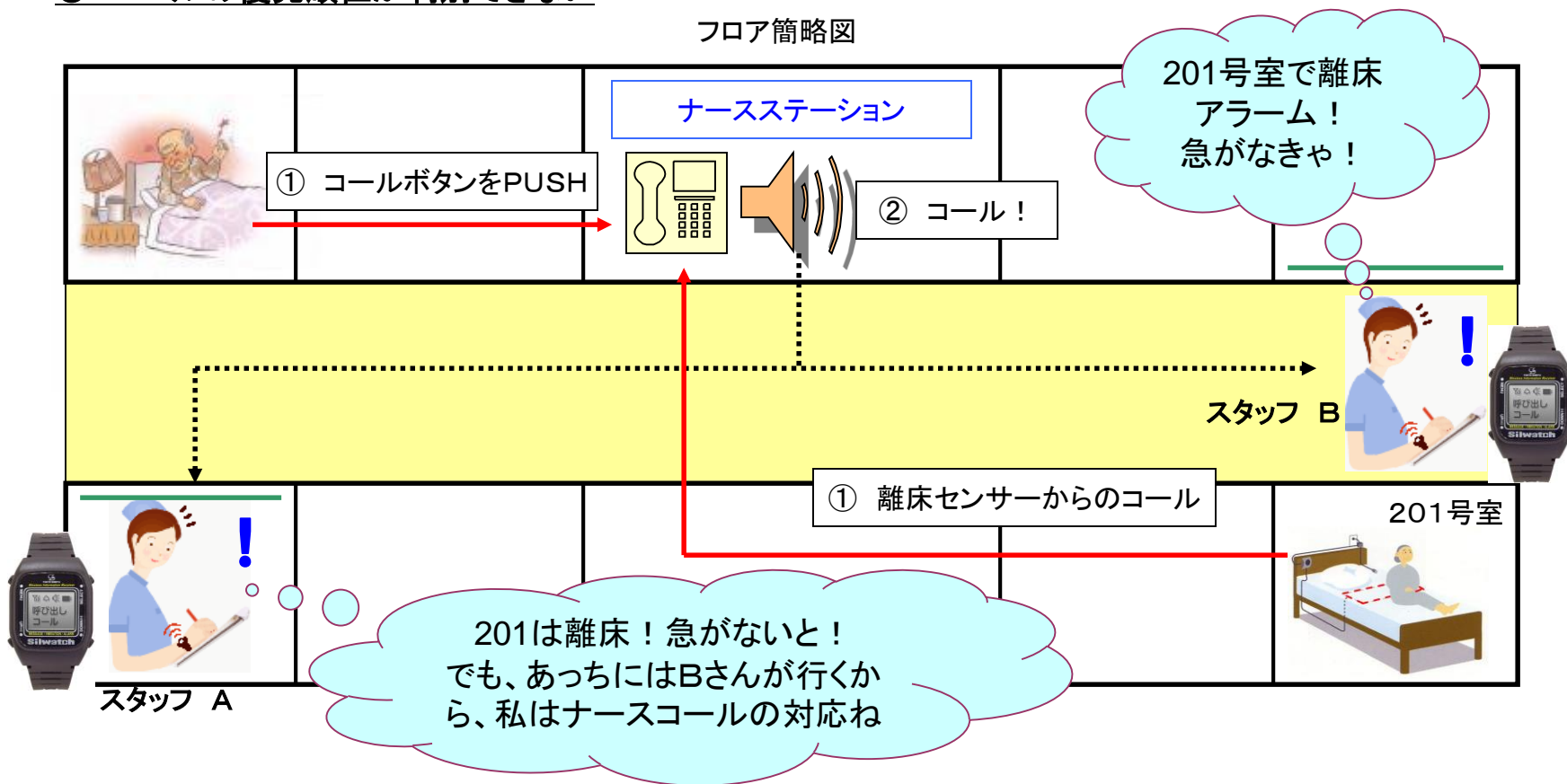


ナースコールで呼び出しをした場合、一般入居者からのコールなのか、
離床センサーからのコールなのかが判別できない。（優先順位が付けられない）

□ 課題解決（1）

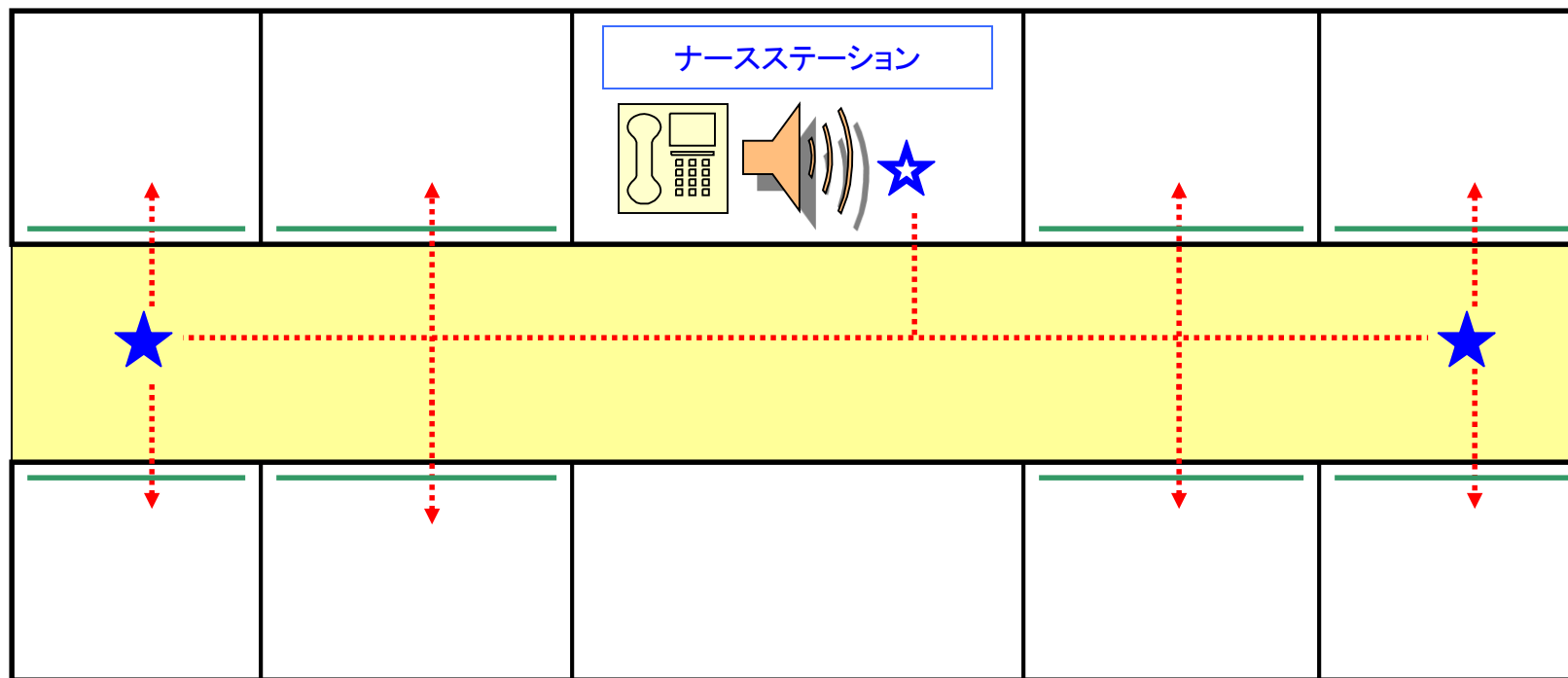
○ コールの優先順位が判別できない

フロア簡略図



離床コールなのか一般コールなのかが一目でわかるので、優先順位がその場でわかります。緊急対応が必要な離床コールに即時対応が可能。(事故防止&業務効率アップ)

□ 取付イメージ



送信器 = ☆

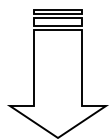
中継器 = ★



受信器 = 介護職員が所持

□ システム構成図

① 離床センサーが入居者の離床を感知

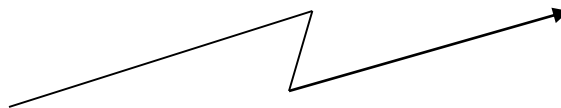


送信器



送信機

無線



③ シルウォッチ受信器が受信。
光、振動、文字、音で情報を伝達

振動+文字



各受信器



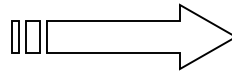
光+音+振動+文字

② 送信器が、離床センサーからの信号を感知し、受信器に信号を送信

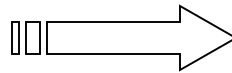


**振動が強い「腕時計型の受信器」で
入所者の方からのコールをどこに居ても確実に
職員へ伝えて業務効率の向上を目指す！**

●入所者から直接職員へ伝達！



●ナースセンターから職員へ伝達！



**職員へ
確実に
伝達！**

□ シルウォッチの概要

- 受信部: バイブレーションと文字表示(メッセージ)により送信者と送信内容を確認できます。着信音はありませんので、周囲に迷惑をかけずに利用者だけが確認することができます。通常は腕時計として使用できます。
- 送信部: 音、光、振動、接点信号などを感知して電波を送信します。
 - 通信距離: 見通しで130m前後(特定小電力仕様)。中継器の使用により、通信範囲を必要に応じて広げられます。
 - 情報量: 1つの受信器で受信できる情報量の制限はありません。送信器を増やした場合は、どの送信器からの信号かを判別して表示します。
 - 形状: 受信器 = 腕時計型
 - 送信器 = サイズ: 65mm × 62mm × 24mm 電源: 固定時はACアダプター、携帯時は単4電池(2本)を使用
 - 現在お使いの警報機、センサー等と連動し、ユーザーが今までの受信部から離れていても確実に情報をお届けできる情報受信端末として、また、広い場所での従業員の呼び出し装置としてもご利用いただけます。
 - 「シルウォッチ」は、NHK教育テレビやテレビ東京、各新聞など多くのメディアで紹介されました。
 - また、東京都ベンチャー技術大賞奨励賞を受賞し、現在、中小企業総合事業団の委託研究対象品に指定されております。

光、振動、文字表示により、リアルタイムの情報伝達が可能です。
必要な装置は以下の3種類です。



情報操作ボックス + 送信器

複数のメッセージをあらかじめ登録でき、
ワンタッチで情報を送信。

情報操作ボックス 9V形乾電池1本使用。
(130×70×30mm 300g)

送信器 単4電池2本使用。
(65×62×23mm 80g)

各種受信器



腕時計タイプ

振動、文字で情報を伝達。
電波到達距離150m以上。充電式。
(49×38×16mm 45g)



ポケベルタイプ

光、音、振動、文字で情報を伝達。
電波到達距離150m以上。単4電池1本使用。
(100×35×15.5mm 53g)

□ システム構成図

操作ボックスに登録してあるメッセージを選択し、
受信器に送信



情報操作ボックス



送信器



中継器

無線

シルウォッチ受信器が受信。
光、振動、文字、音で情報を伝達

各受信器



振動+文字



光+音+振動+文字

電波到達距離は150m以上。それ以上の
距離の場合は、電波中継器でカバー

- 本システムにつきましてのお問い合わせは下記へお願いします。
詳しい資料をお送り致します。デモ機のお貸し出しも承りますので、何とぞご検討
いただき、ご用命賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

株式会社 東京信友

営業部

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-14-5新宿KMビル

TEL 03-3358-8000

FAX 03-3358-6330

mail info@shinyu.co.jp

WEB www.shinyu.co.jp